

第8回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：きたぎんボールパーク（いわて盛岡ボールパーク）

受賞者：盛岡南ボールパーク（株）

【受賞理由】

プロ野球も開催できる本物志向を取り入れながらも日常使いができ、豊かな自然環境と一体となり、ふるさとの記憶をより強く持たせる、地方の公共野球場としての新たな型を提案している。内外野を通じて360度回遊できるコンコースを主軸に、観客席はコンコースと表裏の関係を失くすことによりコンコースからもフィールド全体が見渡せ、来場者に視覚的感動を与えることができる。その他、以下の点が評価された。

○野球場コンコースは365日誰でも入ることができ、キッズスタジアムを含めあらゆる世代・コンディションの方が日常運動の場として使用できる、公園地形と一体となった開放型野球場である。

○観客席のカラーリングデザインには南部紫などを想起する地域性を意識した色（むらさきいろ）を、球場に隣接するキッズスタジアム（遊具）の素材には東京五輪2020で使用した岩手県木材をレガシーとして活用し、サインやベンチ、外装モチーフの素材には岩手県の近代製鉄発祥に代表される「鉄」を用いるなど、地域の持つ素材力により、岩手・盛岡らしさを表現している。



撮影：株式会社エスエス 齋藤 涼

<概要>

施設概要：野球場、屋内練習場

敷地面積：89,676.07 m² 施設面積：20,910.19 m²

竣工年月日：2023年3月31日

所在地：岩手県盛岡市永井7地割16-2

評価実績等：日経アーキテクチュア等に掲載、いわて木材利用促進施設等コンクール「特別賞」を受賞